

コロナ禍でも常設会場で思いっきり楽しめる「SDG s スクール」

NPO法人 つみっくらぶ

事業が目指すところ

つみっく秘密基地遊びを通して培った、防災（避難所プライバシー問題）・環境問題（森林）の知識を生かしコロナ禍でも活動できる、少人数のイベントを企画運営していく。又環境・防災も広くSDG s 課題の文脈で語られるようになり、啓発でなくむしろ教えてもらう スクールの場と遊びをミックスして提供することを目指す

活動内容

2021/11/3 高砂市 よって村荒井感謝祭 つみっく防災スクール

/11/20 三木市緑ヶ丘 防災スクール

10月～2月 つみっく環境スクール SDG s を学ぶため 興味を引く秘密砦の冒険

（コロナ禍の中、対策を十分に行い、少人数でのイベントを企画した。）

2022/2/11- SDG s ハウス組立 （間伐材を利用した、ハウスは何度も建替え可能なハウス）

12 つみっくで家を建設し、水回りにわ多目的コンテナを置く

災害発生時、避難所の新しい形を提案 ※コンテナは2月25日予定

2月13日 SDG s 講演会 つみっく考案者三島晶彦氏による 講演を実施

優秀賞 には 小野適応教室の 生徒が 金賞・銀賞を受賞



よってこ村感謝祭



秘密砦の冒険



つみっくハウス



SDG s 講習会

成果・課題点

- 成果
- ・三木及びよってこ村感謝祭では、多くの来場者、大人・子どもに震災時の避難所状況を理解してもらいプライバシーの大切さを認識してもらった。150名
 - ・秘密砦の冒険 参加者 小学生2 中学生10. 大人15名 7回団体
自分のSDG s を記入してもらった最優秀者を表彰
 - ・SDG s ハウス建設 2日がかりで組み立て 8名で

事業の反省点

- ・やはりコロナの感染が。少し減った時期には活動できたが、再度の拡大で活動へのブレーキがかかった。目標集客を大幅に下回った

今後の展望、成果の活用

今注目を集めているSDG s に特化したイベント秘密砦の冒険は、体験者全員が「面白い」「興味を持った」との意見がもられた。

今後はこれまで以上にPR活動を行い参加者を増やしたい。

つみっくハウスについても、災害時の避難住宅としての需要を獲得したい。